

第2回 アート×アート×アート「音楽×ダンス×写真」
テトラヘドロン—4人の女性によるライヒ&ペルトの世界—

TETRAHEDRON

加藤訓子 × 黒田育世 × 中村恩恵 × 高木由利子

音楽・演奏 (マリンバ)

振付・ダンス

写真

2014/12/19(金)

19:00開演(18:30開場)

Part
1

加藤訓子 × 黒田育世 × 高木由利子

ライヒ: ニューヨーク・カウンターポイント ほか

Part
2

加藤訓子 × 中村恩恵 × 高木由利子

ペルト: フラトレス / 鏡の中の鏡 ほか

衣装: 三宅一生+Reality Lab. 株式会社 三宅デザイン事務所

主催: Hakuju Hall / 株式会社 白寿生科学研究所

助成: アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)



音楽を中心とした異分野コラボレーションで知的好奇心を刺激するシリーズ「アート×アート×アート」。

第2回は、「音楽」「ダンス」「写真」の3分野によるコラボレーションです。

スティーヴ・ライヒの反復により高揚する音楽と、アルヴォ・ペルトの透明で輝く音楽。

この音楽世界を、加藤訓子のマリimba演奏、高木由利子のライブ写真撮影、そして、公演前半は黒田育世、後半は中村恩恵によるダンス、

これら3つの要素で創りあげます。

ホール全体がまるで一つの楽器であるかのように豊かに響く音。アーティストの一瞬の輝きを捉え、スクリーンに映し出される写真。

この2つの共通した要素に、前半後半で入れ替わるダンサーが、異なる要素として絡まっていきます。

シンプルかつコンパクトなステージでは、これら3つの異なる要素が、4人の女性によって、時に同時に、時に孤独に、エネルギーを放ちます。

それはまるで、

テトラヘドロン——三角形から構成される四面体

或いは、四面から構成される三角錐

4つある頂点は、それぞれ3つの面の接点

4人の女性による一夜限りの公演が、見えないテトラヘドロンを形にし、強烈に発信します。

第2回 アート×アート×アート 「音楽×ダンス×写真」 テトラヘドロン—4人の女性によるライヒ&ペルトの世界—

2014/12/19(金)

19:00 開演 (18:30 開場) 約1時間

全席指定: 6,000円(税込)

TETRAHEDRON

HAKUJU HALL

- Part 1 加藤訓子×黒田育世×高木由利子
ライヒ: ニューヨーク・カウンターポイント/シックス・マリimba・カウンターポイント
- Part 2 加藤訓子×中村恩恵×高木由利子
ペルト: フラトレス/鏡の中の鏡/カントゥス〜ベンジャミン・ブリテンの思い出に



加藤訓子(音楽・演奏 マリimba) Kuniko Kato (marimba) www.kuniko-kato.net
桐朋学園大学研究科修了後渡欧し、ロッテルダム音楽院を首席で卒業。ダルムシュタット国際現代音楽祭クラニヒシュタイン賞等、受賞歴多数。11年 スティーヴ・ライヒの代表作「カウンターポイント」を世界初打楽器編曲したアルバム「kuniko plays reich」を英リレコードより発売。ライブ版公演はサントリー芸術財団より第12回 佐治敬三賞を受賞。13年リレコードからの第2作目「CANTUS」は、アルヴォ・ペルトの作品にフィーチャーし、英グラモフォン誌等で高い評価を受け、同年ミュージックペンクラブジャパンより優秀録音賞受賞。桐朋学園大学非常勤講師。パール楽器・アダムス社(蘭)インターナショナルアーティスト。



黒田育世(振付・ダンス) Ikuyo Kuroda (dance) batik.jp
BATIK 主宰、振付家・ダンサー。6歳よりクラシックバレエをはじめ。谷桃子バレエ団に所属しながら97年渡英、コンテンポラリーダンスを学ぶ。00年より伊藤キム+輝く未来で活動。02年にBATIKを設立。バレエテクニックを基礎に、身体を極限まで追い詰める過激でダイナミックな振付けは、踊りが持つ本来的な衝動と結びつき、ジャンルを超えて支持されている。国内外での多数のカンパニー公演に加え、金森稜率いる「Noism05」への振付提供や、鉛屋法水、古川日出男、笠井観、野田秀樹などさまざまなアーティストとのクリエーションも多い。映画『告白』(中島哲也監督/10年)への出演も話題となった。

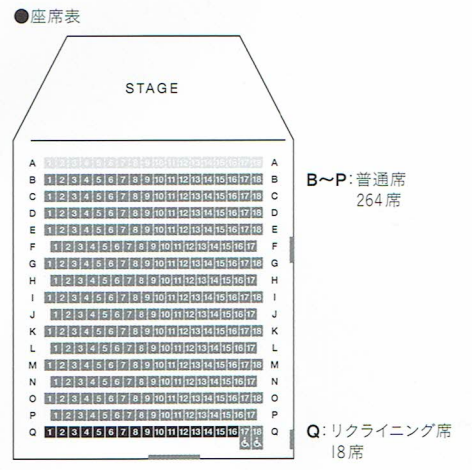


高木由利子(写真) Yuriko Takagi (photographer) yurikotakagi.com
東京生まれ。武蔵野美術大学にてグラフィックデザインを学ぶ。イギリスのTrent Polytechnicにてファッションデザインを学ぶ。フリーランスデザイナーとしてヨーロッパで活躍。以後、写真家として独自の視点から衣服や人体を通して「人の存在」を撮り続ける。ライフワークとしての二つプロジェクト、日常に伝統的な服をまだ纏って生活している人々を記録するプロジェクト「THRAEDS OF BEAUTY」地球上の様々な[地肌と人肌の間の引力]を撮らえていくプロジェクト「THE BIRTH OF GRAVITY」撮影地は、日本を拠点に、アジア、アフリカ、南米、中近東に及び、現在撮影旅行中。植物のヌードのシリーズ「SE」は今年フランスより出版され、個展もパリで行われる予定。同時に、他のジャンルのアーティストと組むプロジェクトも積極的に行い、still/movie という独自の手法の映像作品も手がける。



中村恩恵(振付・ダンス) Megumi Nakamura (dance) www.sayatei.com
第17回ローザンヌ国際バレエコンクールにてプロフェッショナル賞を受賞後、モンテカルロバレエ団、J. キリアン率いるネザーランド・ダンス・シアターにて活躍。退団後はオランダを拠点に活動し、「Dream Window」で Golden Theater Prize を受賞。彩の国さいたま芸術劇場にて、キリアン振付フルイニングソロ「ブラックバード」上演、ニムラ舞踊賞受賞。2007年に日本へ活動の拠点を移す。ダンサーと振付家の活動を両立し、Noism07「Waltz」、Kバレエカンパニー「New pieces」にて「黒い花」、新国立劇場バレエ団「DANCE to the Future」にて「O Solitude」他を発表する等、多くの作品を創作。また「The Well-Tempered」「Shakespeare THE SONNETS」等、首藤康之との創作活動も積極的に行っている。また、自身の舞踊活動に加え、キリアン作品のコーチとしてパリオペラ座をはじめ世界各地のバレエ団や学校の指導にあたる。第61回芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。第62回横浜文化賞。

衣装: 三宅一生 + Reality Lab.
株式会社 三宅デザイン事務所
照明: 三浦あさ子
音響: 寒河江ユウジ
メディア・デザイン: 近藤テツ/ジェフ・フェダーソン
舞台監督: 黒澤一臣/市川太也(OSK)
ヘアメイク: 小林雄美
制作: Hakuju Hall
制作協力: Kuniko Kato arts project SAYATEI



チケットお申し込み DM 会員先行発売日: 5/10(土) 一般発売日: 5/17(土)

Hakuju Hall チケットセンター 03-5478-8700 10:00—18:00(火—土※祝日・休館日を除く)

オンラインチケット予約 <http://www.hakujuhall.jp/>

ローソンチケット 0570-000-407(Lコード:34637) イープラス <http://eplus.jp/hakuju/>

● 最後列Q列はリクライニング席となります。(チケット料金は変わりません。) ● 出演者・曲目等が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
● 一度お求めいただいたチケットの変更、キャンセルはできません。● 未就学児の入場はご遠慮ください。

DM 会員募集中 優先予約や優待割引など、特典満載。ご登録料・会費はいっさい無料です。ご登録・詳細はホールHPまたはチケットセンターお電話まで。

白寿ホール 検索

Hakuju 株式会社白寿生科学研究所は、音楽を通じて“ゆとりある精神”を実現する場を提供いたします

